

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するも
のです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品 番	VE-E810K (テレコントロールエンジンスターター)		
S/No.			
お買い上げ			
保証期間	お買い上げの日より3年 (※ご購入日より1年。消耗品は除く)		
お名前			
お客様	ご住所	〒	
販売店	店名・住所	TEL.()	
上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い 上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。			

無効

ユピテル工業株式会社

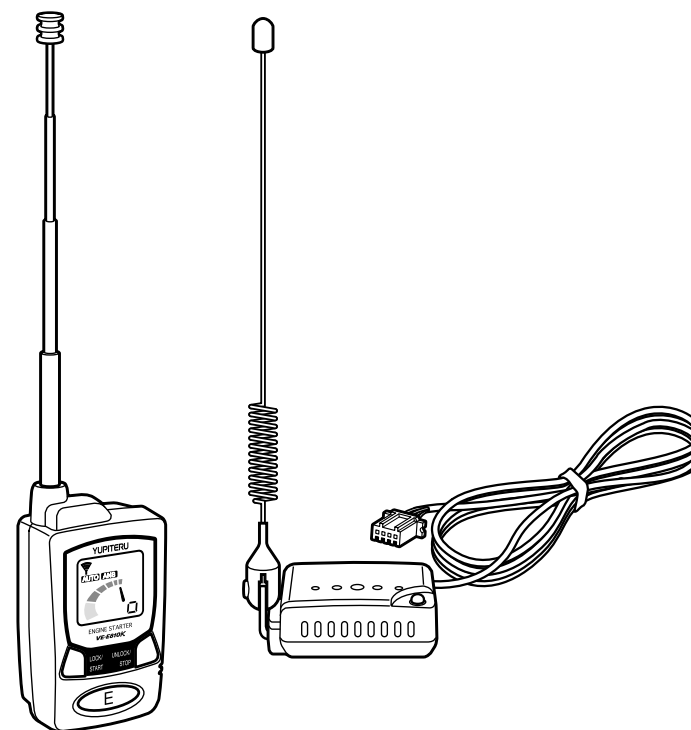
YUPITERU

オートキーレス機能搭載

“双方向”テレコントロールエンジンスターター

VE-E810K

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターを
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いく
ださい。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に
大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」およ
び電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコン
ロールシステムです。



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカー
ディーラー様にご依頼ください。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- ・お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- ・適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- ・オートマチック(AT)車
- ・12V車で、⊖アースの車

※上記の、3つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- ・マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

目次

はじめに

主な特長	2
多彩なオプション	3
ご使用前に(安全上のご注意)	4
セット内容	6
各部の名称	7
リモコン表示	8
電池の入れかた(交換のしかた)	9

操作する

エンジン始動～始動確認～停止/ ドアロック/アンロック	10
ドアロック(施錠)/アンロック(解錠) システムについて	12
安心のロック機能について	14
エンジンを始動させる	16
エンジンを停止させる	17
エンジンの状態を確認する	18
マニュアル操作でドアをロック/ アンロックする	19
車への乗車	20
リモコン使用時の注意とヒント	20

設定する

ターボタイマー機能	21
エンジンスターターの設定	22
セル時間の設定	22
アイドリング時間の設定	22
グロー時間の設定	22
ステータスLEDの点滅設定	22
セルモータ停止タイミング検出方法選択	24
始動判定方法選択	24
IG設定	24
エンジンスターター特殊制御の設定	24
オールリセット	24
オートキーレス動作の設定	26
ドア検出	26
アイドリング中のドア開検出動作	26
ダブルロック反転動作	26
マイホームモードの設定	26
オートキーレス復帰機能の設定	26
アンロックエリアの設定	28
ロック動作の確認	29

その他

バッテリー交換や本機の 付け替え時の再設定について	30
リモコンの登録	32
スリープ機能について	33
安全機能について	33
こんなときは	34
始動エラー音について	36
仕様	37
アフターサービスについて	38
保証書	裏表紙

主な特長

■オートキーレス機能搭載

業界初のオートキーレスアンサーバックモード搭載！リモコンを携帯しているだけで、車に近づくとアンロック。離れるとロックするオートキーレス機能に、ドアのロック/アンロックをお手元のリモコンにお知らせする、オートキーレスアンサーバックモードを搭載しました。(業界初)

■コンパクト設計

- 指先サイズの超小型リモコン
……ポケットに入れても邪魔になりません。
- 高性能ステルスアンテナユニット
……超小型アンテナユニットは、目立たずインテリアデザインに調和します。

■確実に飛ぶ！かかる！わかる！

- 先進のS/N比改善プログラムによりノイズに埋もれた微弱な信号を識別し、通信性能を大幅UP！今まで受信しにくかった屋内やビル影の陰でも確実にエンジンを始動。

■通信距離の目安

通信距離：最大3,000m(見通し)
都市部(ビル街)：300m(遮蔽物あり)～800m
郊外(住宅街)：300m(遮蔽物あり)～1,000m
※ オートキーレス通信エリアは、約30～50mとなります。

【ご注意】

電波の届く距離は、地形・建物などの条件で変化します。

リモコン

- エンジンの状態をグラフィック表示
……エンジンの状態をデジタルメータ感覚の液晶表示で臨場感たっぷりに表示します。また、夜間などでもバックライト(橙色)の点灯により、操作ミスを防ぎます。
さらに、音階ブザーを鳴らし分けて通信とエンジンの始動を確実にお知らせします。
- エンジン始動指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』、通信OK『♪ソファミレド』、エンジン始動OK『♪ドレミファソファミレド』
- エンジン停止指令時
……送信OK『♪ドレミファソ』
エンジン停止『ピーピーピッ』
- オートキーレス動作によるドアロック時
……『ピピピッ』
- オートキーレス動作によるアンロック時
……『ピーピッ』

■ロングライフ

1日10回使用で約1年間使用できます。
※ オートキーレスアンサーバックモードをOFFにして使用した場合の目安です。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

■グロー時間設定

最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を2.0/3.0/5.0/7.0/10.0秒の5段階から選択できます。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。

■リモコンですべての設定が可能

アイドリング時間などの設定がリモコンから行えます。

多彩なオプション

■ドア検出

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)

本機によるアイドリング中にドアを開くと、エンジンを停止できます。(アフターアイドリング中は機能しません)

また、ドアを開いている場合のオートキーレス動作停止や、エンジンキーをOFFにして、ドアを閉めた際のロック応答性が向上します。

■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯してバッテリーあがりを防ぎます。

【ご注意】

一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ハザードアンサーバック機能

(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)

別売 ハザード制御：A-18SFを接続し、本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅させてエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるアイドリング中にも、リモコン操作によりアイドリング状態の確認(3回点滅)ができます。
さらに、リモコン操作またはオートキーレス機能によるドアロック/アンロック時に、ハザードランプを1回/2回点滅させてドアの施錠・解錠をお知らせします。

■イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)

車輌純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。
本機取り付けにより、車輌のイモビライザー機能を損なうことはありません。

※ エンジンスターターでの始動を除いて、車輌純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

- ❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- ⊘ 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。
- ⊘ 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⊘ お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- ❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- ⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- ⊘ マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- ❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- ⊘ 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- ⊘ 煙がでている、異臭がするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

- 🚫 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- ❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。
 - ボンネットを開けるとき
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- ❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が動かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- ⊘ 本機でエンジン始動をした際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が動かず、思わぬ事故につながる場合があります。
- ❗ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- ⊘ むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

⚠ 注意

- あらかじめ駐車時には以下のことを守る
- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターや車種別専用ハーネスがヒューズ切れを起こし損傷する恐れがあります。
 - 全ての窓を閉めてください。
 - 全てのドアの施錠(ロック状態)を確認してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するとき、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。



本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法に関して

- リモコンやアンテナユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 ご使用にあたって

- 車から離れるときは、車のキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったりドアアンロックできない場合があります。
- ドアロック操作は、ドアのロックが確認できる範囲でご使用ください。
 - ※ マニュアル操作はアンロックエリア外からも操作できます。
 - ※ オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲にアンロックエリアを設定して使用してください。
 - ※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。
- 本機はダブルロック機能により、アンロックエリアよりさらに遠ざかると、約16秒後に再度ドアロックを行います。
 - ※ マニュアル操作を行ったときは、ダブルロック動作を行いません。
- カーセキュリティと併用する場合は、ドアロック/アンロック時にセキュリティが反応する場合があります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- 市販のターボタイマーと併用することはできません。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリースystem

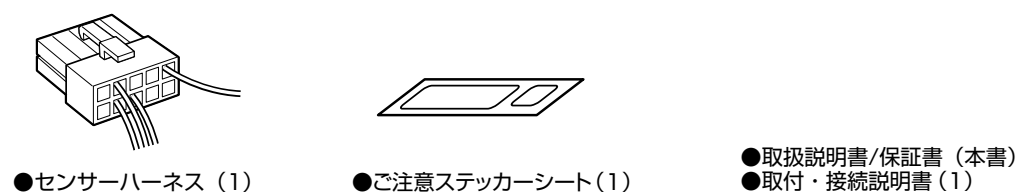
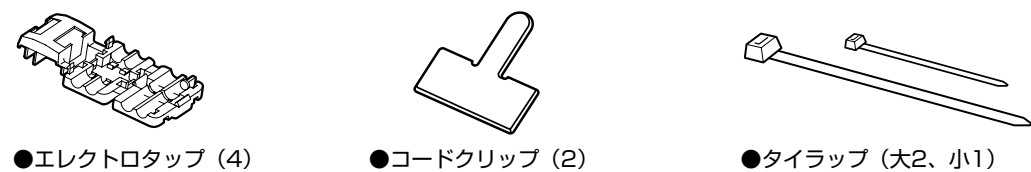
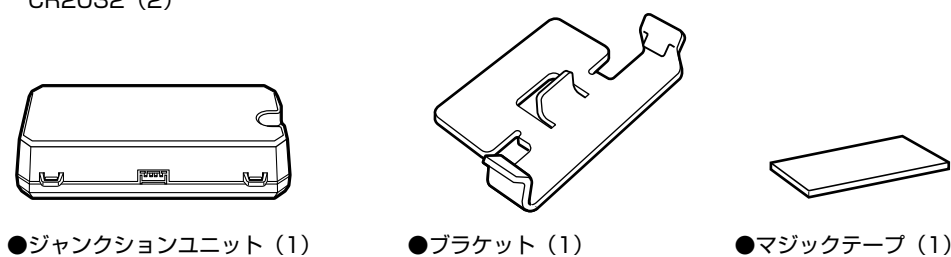
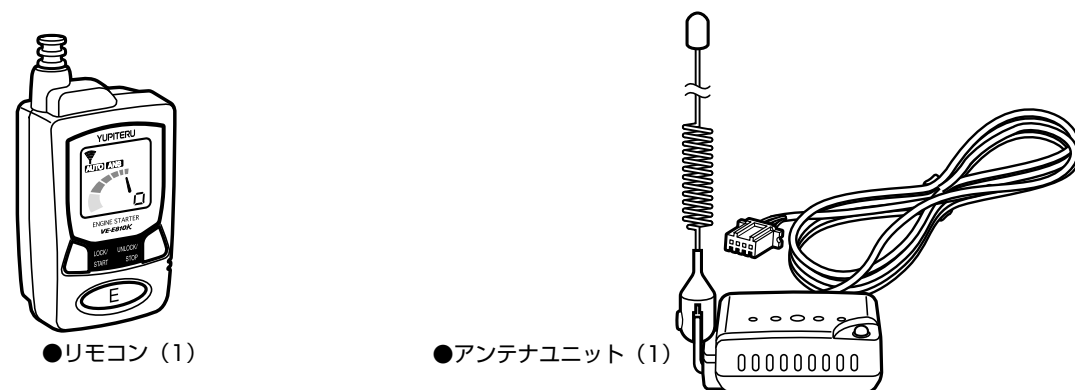
装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。

- **コンライトキャンセル機能を配線していない場合**
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
 - ※ 暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- ターボタイマー機能は、ご使用になる車輦により、まれに正常に動かないことがあります。
- イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときにセルがホールドする車輦では使用できません。
- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。



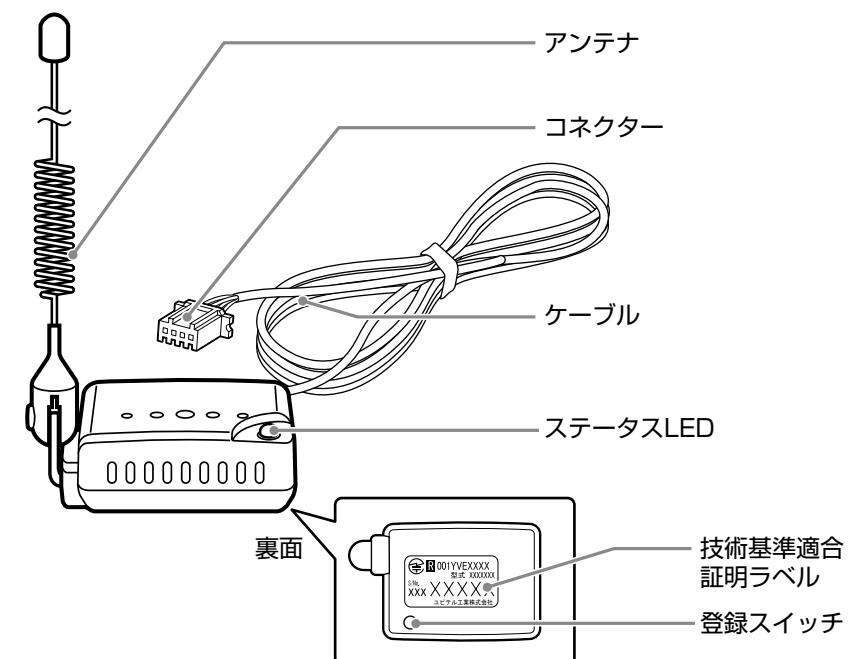
セット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

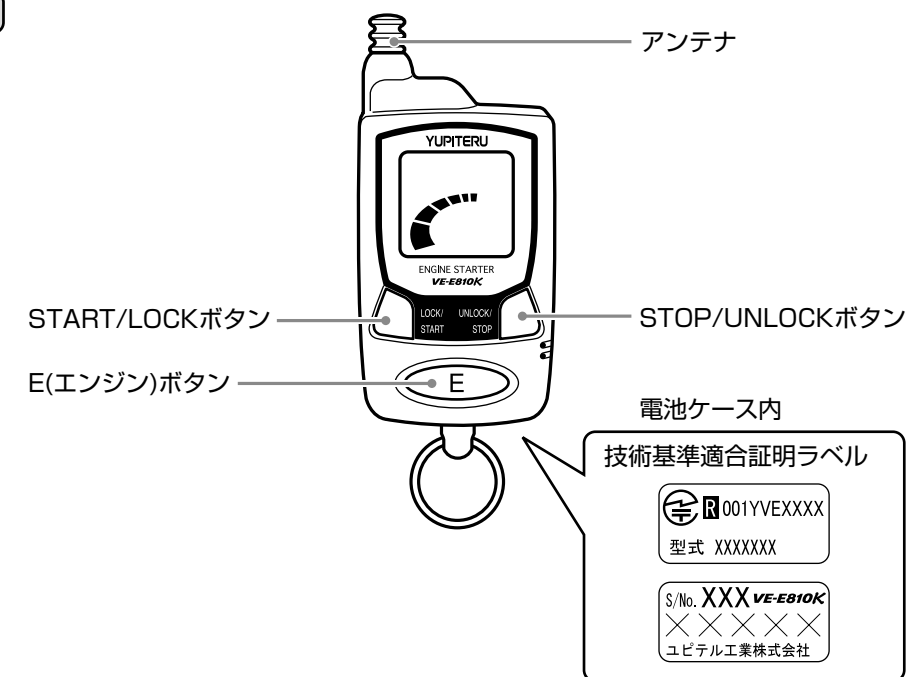


各部の名称

アンテナユニット



リモコン

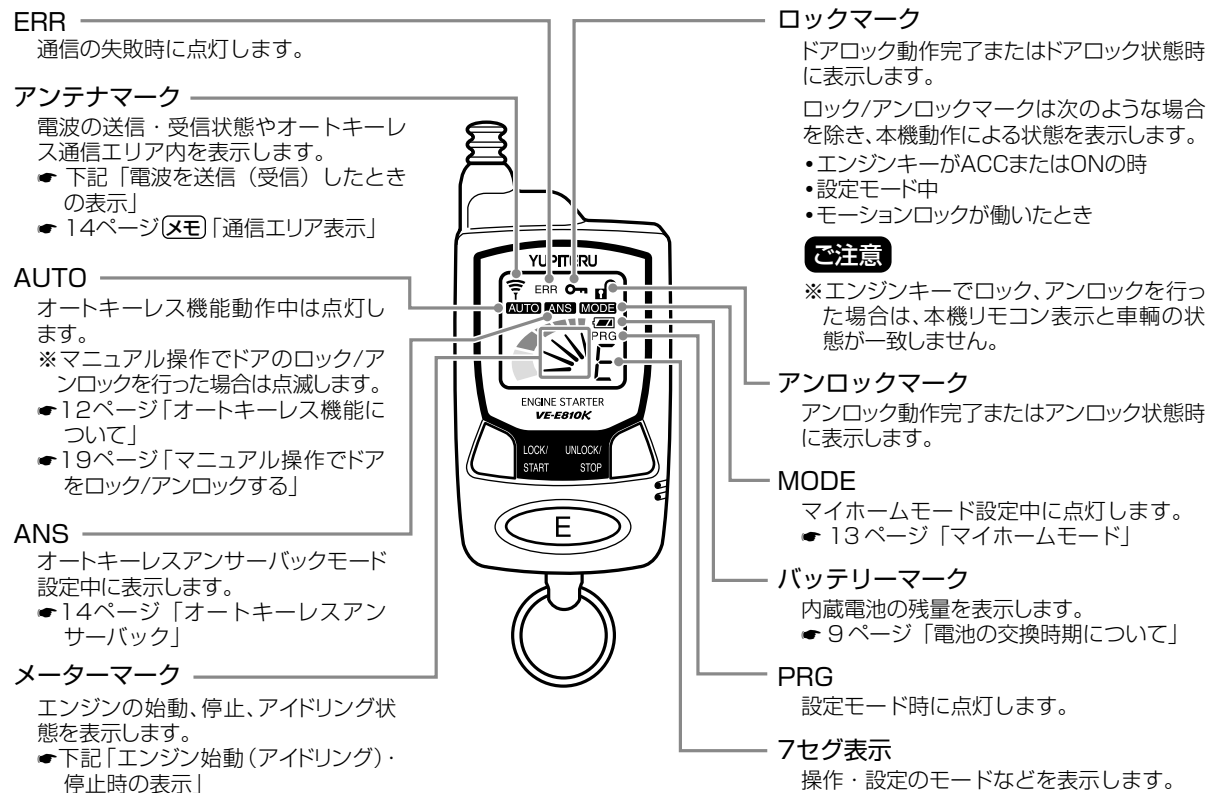


ご注意

技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

リモコン表示

リモコンの ・・ ボタンのいずれかを押すと、操作したボタンに応じた液晶表示とバックライトを点灯(点滅)します。また、電波(アンサーバック)を受信した場合は動作に応じた液晶表示とバックライトを点灯(点滅)します。各アイコンは次のような場合に表示します。
※オートキーレス動作により、ドアロック/アンロックした場合は、バックライトが約3秒間点灯します。

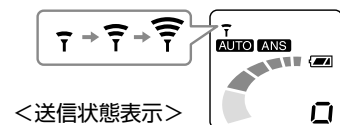


ポイント

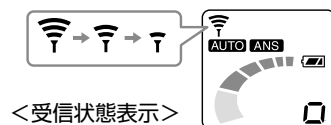
気温が0℃以下になると液晶表示が薄くなったり、表示されないことがありますが、エンジンの始動・停止等リモコン操作上は問題ありません。

電波を送信(受信)したときの表示

電波送信中はアンテナマークが内側から外側に順次点灯します。(送信状態)
送信状態表示中に送信を行います。



電波受信中はアンテナマークが外側から内側に順次消灯します。(受信状態)

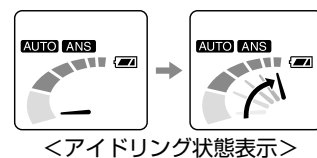


メモ

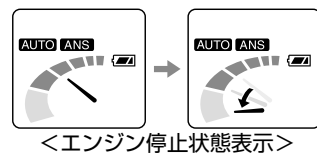
アンロック操作後にドアロック(アンロック)状態を確認するため、通信を行なう場合があります。送信(受信)状態を表示しているときは、リモコン操作ができません。通信の終了を待ってから、リモコンを操作してください。

エンジン始動(アイドリング)・停止時の表示

エンジンが始動した場合やアイドリング中の表示は、メーターマークがアイドリング状態を表示します。



エンジン停止時は、メーターマークがエンジン停止状態を表示します。



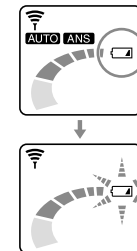
電池の入れかた(交換のしかた)

本機ご使用前に付属のリモコン用電池を装着してください。この電池はモニター用の電池で記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。電池を交換する場合は右記手順で電池を交換してください。

なお、電池交換中は車輛周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には充分に注意してください。

電池の交換時期について

バッテリーマークの残量表示が少ない表示になったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。さらに電池が消耗すると、バッテリーマークが点滅して、オートキーレス機能の停止や電波の送信出力を制限します。
※オートキーレス機能の停止…オートキーレス機能によるドアロック・アンロックを行いません。
送信出力の制限…リモコンで操作できる通信距離が短くなります。



電池寿命の目安

※1日10回の操作で約1年間ご使用いただけます。
オートキーレスアンサーバックモードでご使用の場合は、約半年程度で電池容量が低下します。

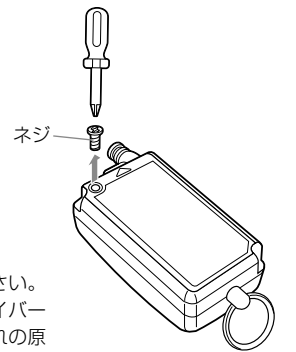
ご注意

- 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

警告

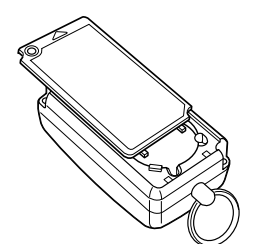
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 リモコン裏面のネジをはずす

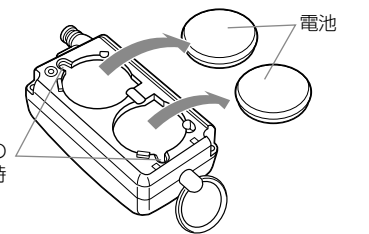


※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池蓋を上方向にスライドする

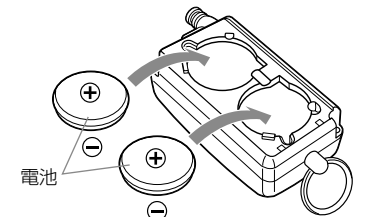


3 電池交換の際は、電池取り出し穴に先の細いドライバーなどを差し込み、押し上げると電池が外れます。



この穴からドライバーの先などで電池を押し持ち上げる

4 電池の向きを確認して、セットする



※本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

5 電池蓋を取り付け、ネジを締める

エンジン始動～始動確認～停止/ドアロック/アンロック

本機操作の大まかな流れは以下のようになります。詳しい操作方法や動作は本書16ページから19ページをご覧ください。

エンジンを始動させる

E ボタンを押す
“E”が点滅します。

バックライト点灯中に、**LOCK/START** ボタンを押す

ドレミファソ

アンテナマークが送信状態を表示します。

アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…
受信音「ソファミレド」が鳴り、アンテナマークが受信状態を表示します。

エンジンが始動すると、アンテナユニットがリモコンに信号を送ります

アンテナユニットからの信号を受信すると…
受信音「ドレミファソファミレド」が鳴り、メーターマークがアイドリング状態を表示して、エンジンの始動をお知らせします。

エンジンの始動を確認する

E ボタンを押す
“E”が点滅します。

バックライト点灯中に、もう一度**E** ボタンを押す

ドレミファソ

アンテナマークが送信状態を表示します。

アンテナユニットが信号を受信すると、リモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…
受信音「ドレミファソファミレド」が鳴り、メーターマークがアイドリング状態を表示して、エンジンがアイドリング中であることをお知らせします。

エンジンを停止させる

E ボタンを押す
アンテナマークが点滅します。

バックライト点灯中に、**UNLOCK/STOP** ボタンを押す

ドレミファソ

アンテナマークが送信状態を表示します。

アンテナユニットが信号を受信すると、エンジン停止してリモコンに信号を送り返します

アンテナユニットからの信号を受信すると…
エンジン停止音「ピーピーピー」が鳴り、メーターマークがエンジン停止状態を表示してエンジンが停止したことをお知らせします。

オートキーレスでドアがロックされると

車輦から離れ、アンロックエリア外に出るとドアをロックします

ビビビ

オートキーレスでドアがアンロックされると

車輦に近づき、アンロックエリア内に入るとドアをアンロックします

ピーピー

ポイント

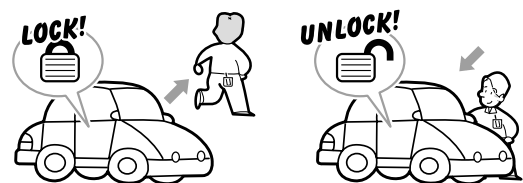
本機リモコン操作(エンジンの始動、停止、確認、ドアのロック/アンロック)をしたときに、アンテナユニットからの信号を受信できないと、リモコンからエラー音「ピー」が鳴りERRを点滅表示します。
このような場合は、もう一度最初からリモコンの操作を行ってください。

ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)システムについて

オートキーレス機能について

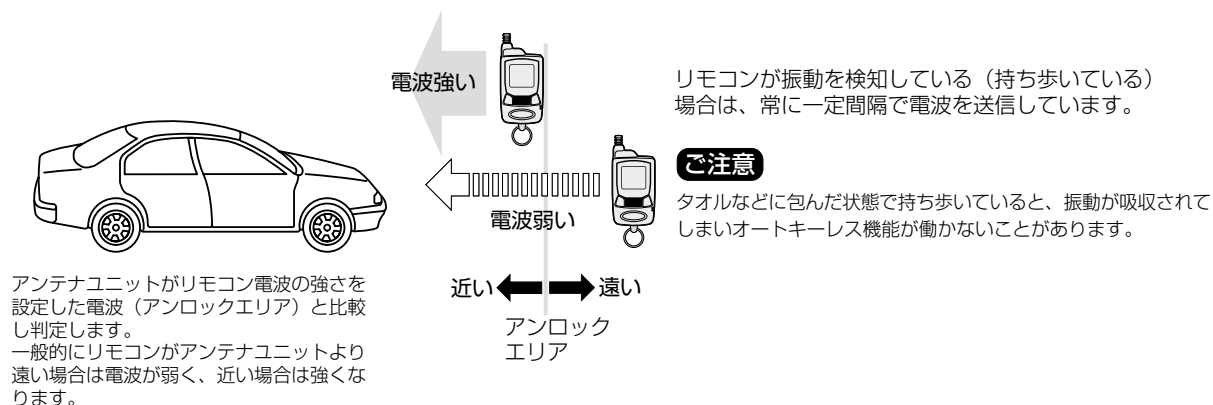
本機のオートキーレス機能は、本機のリモコンを持って車に近づくだけでアンロックを行い、離れると自動的にロックを行います。(エリア判定※1)
さらにオートキーレス動作(ロック/アンロック動作)の完了をお手元のリモコンにアンサーバックするオートキーレスアンサーバックモードを搭載した、最新のキーレスエントリーです。

※1 エリア判定
本機のドアロック/アンロック動作は、リモコンから常に発信している電波が、お客様の設定したアンロックエリアの電波に比べ、強い/弱い判定(エリア判定)を行います。
電波が強い場合は、アンロックエリアより近い位置(アンロックエリア内にリモコンが存在する)と判断し、アンロック動作を行い、弱い場合は、ドアロック動作を行います。



メモ

オートキーレス機能は、リモコンのアンテナを収納した状態でご使用いただけます。



アンロックエリアとして設定した電波の強さ > リモコン電波の強さ → ロック

アンロックエリアとして設定した電波の強さ < リモコン電波の強さ → アンロック

⚠ オートキーレス機能の使用上のご注意

- エンジンスターターのアイドリング中は、オートキーレス機能は作動いたしません。
- 1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、エンジン停止状態でエンジンキーをACCにしてください。(エンジンスターターのアイドリング中にエンジンキーをACCにしてもオートキーレス機能は停止しません)
- 車から離れるときは、車のキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったりドアアンロックできない場合があります。
- 必要以上にアンロックエリアを広げないでください。(オートキーレス機能のアンロックエリアの範囲はリモコンで変更できます。詳しくは「アンロックエリアの設定」(➡ 28ページ)をご覧ください)

⚠ キー閉じこみのご注意

本機には、さまざまなドアロック機能(ダブルロック機能、センシングロック機能、モーションロック機能、マイホームモード)が搭載されています。
ガソリン給油時の洗車などで、キー閉じこみになる恐れがございます。給油時や洗車など車から離れるときは、本機リモコンまたはスペアキーを必ず携帯するように心がけてください。万が一、車のキーを閉じこみしてしまった場合は、3分間そのままの状態待ち、その後、車を揺らし(リモコンに振動を与え)てください。モーションロック機能が解除され、アンロックされる場合があります。

マニュアル操作

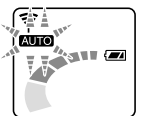
本機はオートキーレス機能によるドアロック/アンロック動作に加え、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできます。必要に応じてお使い分けてください。

➡ 19ページ「マニュアル操作でドアをロック/アンロックする」

※ドアロック操作は、ドアのロックが確認できる範囲でご使用ください。

●オートキーレス機能の停止

マニュアル操作を行うと、**AUTO**アイコンが点滅し、オートキーレス動作を停止します。



- オートキーレス動作はオートキーレス自動復帰機能またはオートキーレス機能の復帰操作によって、動作を再開できます。

➡ 26ページ「オートキーレス自動復帰機能」

オートキーレス機能復帰操作

オートキーレス機能を再開するには、**E** ボタンを5秒以上押し続けてください。

AUTO の表示が点灯になり、オートキーレス機能を動作します。

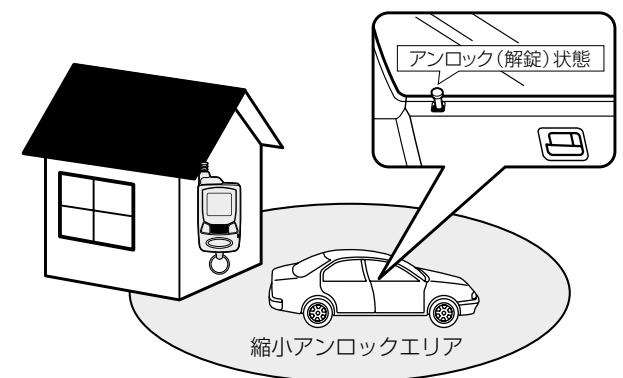


マイホームモード

周囲の環境やリモコンの保管場所によっては、モーションロック機能によりアンロックエリアを縮小しても、アンロック状態になってしまうことがあります。(家屋と駐車スペースが隣接している場合など)このような場合でも、所有者の動きがなくなった場合やリモコンを置いた場合など(リモコンが振動を検知できない場合は、約1分後に強制的にドアをロックして、確実なロック状態にすることができます。

※マイホームモードを「無効」に設定した状態でリモコンの振動が検知できないと、モーションロック機能によりアンロックエリアを縮小(アンロックエリアより約1~2m内側)して、エリア判定を行います。

- ➡ 15ページ「モーションロック機能」
- ➡ 26ページ「マイホームモードの設定」



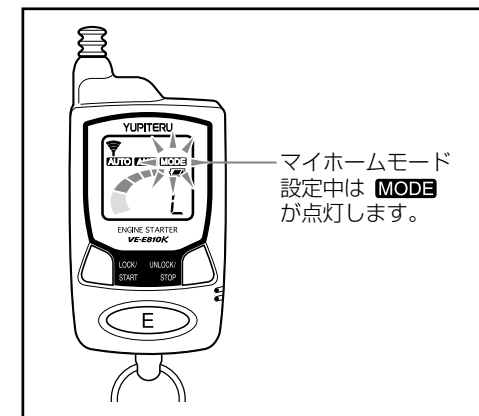
⚠ 使用上の注意

マイホームモードは、アンロック状態のままになってしまいうことを防止するために、約1分間、リモコンが振動を検知できないと、強制的にドアをロックします。

車のキーを車内に残したままにすると、キーの閉じこみになります。車から離れる時は、必ず車のキーを携帯してください。

➡ 12ページ「キー閉じこみのご注意」をご参照ください。

●マイホームモード設定中の表示

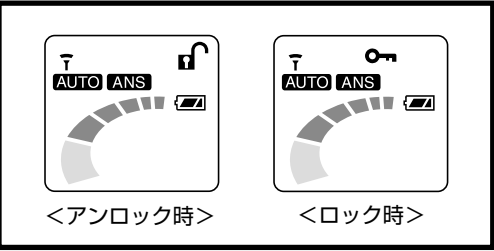


オートキーレスアンサーバック

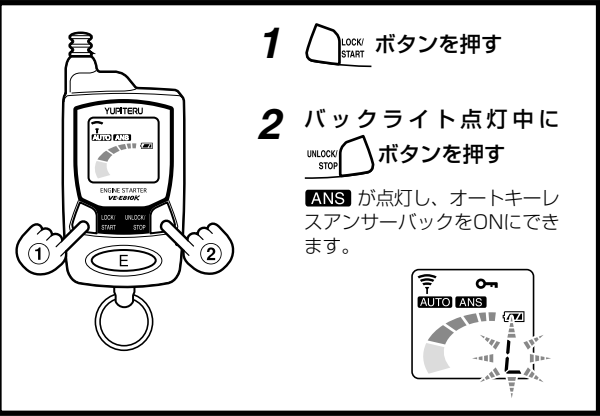
本機オートキーレス機能による、ドアロック/アンロック動作をリモコンに通知することができます。

●オートキーレスアンサーバック表示

オートキーレス動作により、ドアがアンロック(ロック)されると受信音『ピーピッ』(ロック時はピピピッ)が鳴り、アンロックマーク(ロック時はロックマーク)の点灯表示に変わります。(バックライトは最初の3秒間点灯します)



●オートキーレスアンサーバック設定手順



オートキーレスアンサーバックをOFFにする場合は…

ANS が表示されていることを確認して、上記操作を行うと **ANS** が消灯し、オートキーレスアンサーバックをOFFにできます。

●ご注意

オートキーレスアンサーバックをONにしていると、OFFの設定に比べ電池の消耗が早くなります。
(電池寿命の目安 約半年程度)

安心のロック機能について

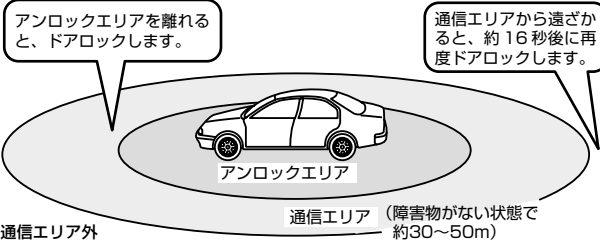
本機は色々なシーンを想定して、3つの安心ロック機能(ダブルロック、センシングリロック、モーションロック)を備えていますので、安心してご使用いただけます。

ダブルロック機能

ドアロック後、さらに車から遠ざかり、オートキーレスの電波がまったく届かない状態(通信エリア外)が約16秒続くと、もう一度ドアをロックします。
リモコン所持者が車から離れた後、同乗者が車から降りたシーンを想定した機能で、同乗者の鍵の閉め忘れもしっかりガードします。

●ご注意

マニュアル操作を行ったときは、ダブルロック動作を行ないません。



通信エリア外
エンジンの始動/停止およびマニュアル操作でのドアロック/アンロックは操作できます。

※一部の車輛において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないことがあります。本機はこのような車輛でも、確実にドアをロックするためにダブルロック時は一度アンロック動作後にドアをロックする安全機能を備えています。取付車輛の動作をご確認のうえ、ドアロック時の動作を設定してください。
➡ 29ページ「ロック動作の確認」

メモ

●通信エリア表示

本機リモコンのアンテナマークで通信エリア内・外をお知らせします。
※電波の送信(受信)中は表示できません。

通信エリア内	リモコンのアンテナマークが下から1個点灯	
通信エリア外	リモコンのアンテナマークがすべて消灯	

(ダブルロック機能、センシングリロック機能、モーションロック機能)

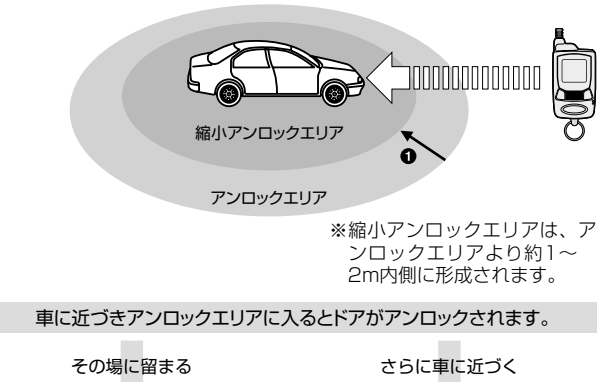
センシングリロック機能

アンロックした後に、エンジンキーがACCにならずに20秒経過するとアンロックエリアを自動的に縮小して、エリア判定を行います。(ACCがONにならない場合は、乗車意思がないと判断してアンロックエリアを縮小します)
コンビニエンスストアなど駐車場と店舗が隣接している場所では、不意に車に近づいてしまうことがありますが、このような場合でも、さらに車に近づかなければロックするので安心です。

➡ 12ページ「オートキーレス機能の使用上のご注意」をご参照ください。



●センシングリロック機能の動作



20秒以内にエンジンキーがACCにならないとアンロックエリアを縮小します。(矢印①)
縮小したアンロックエリアでエリア判定を行い、ドアをロックします。

※縮小アンロックエリアは、アンロックエリアより約1~2m内側に形成されます。

縮小したアンロックエリア内に移動していれば、アンロック状態を保持します。

モーションロック機能

本機リモコンは内蔵の振動センサーで所持者の動きを認識します。
通信エリア内にリモコンを放置(振動がない)すると、約1分後にアンロックエリアを自動的に縮小し、エリア判定を行います。また、マイホームモードに設定している場合は、エリア判定をせずに強制的にドアをロックします。
飲食店など駐車場と店舗が隣接している場所を想定して、不意なアンロック状態を回避するための機能です。

●ご注意

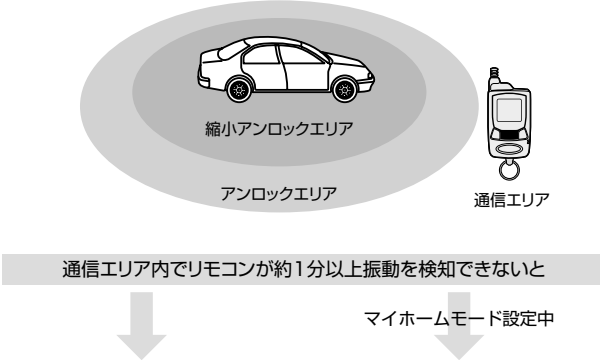
マニュアル操作を行ったときは、モーションロック動作を行ないません。

※モーションロック時のロック動作は「ダブルロック反転動作」(➡ 26ページ)で設定した動作となります。
※マイホームモード設定中は、リモコンを放置(振動がない)すると、アンロックエリアを縮小せずに強制的にドアをロックします。

➡ 12ページ「オートキーレス機能の使用上のご注意」をご参照ください。



●モーションロック機能の動作



アンロックエリアを縮小します。縮小したアンロックエリアでエリア判定を行い、ドアをロックします。

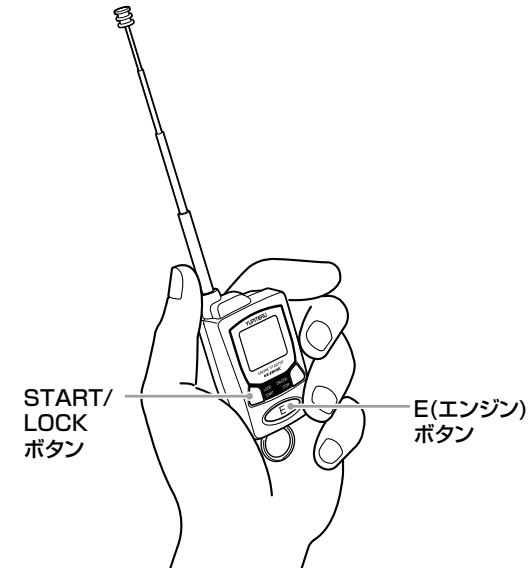
マイホームモード設定中は、強制的にドアをロックします。

リモコンの保管(放置)場所	1分以上振動を検知できなかった場合のドア状態
通信エリア外	ロック状態
通信エリア内	ロック状態
アンロックエリア内	ロック状態
縮小アンロックエリア内	アンロック状態(マイホームモード設定中はロック)

エンジンを始動させる

⚠ 注意

●降雪時や寒冷地で車を駐車するときは…
車を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。
本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。



●エンジンが始動できないと



エンジン停止音『ピーピーピッ』が鳴り、ERR 点滅表示とメーターマークがエンジン停止を表示します。
このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

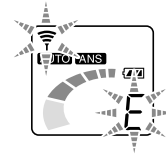
メモ

●車のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

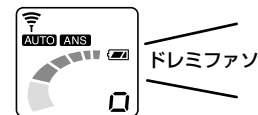
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで E ボタンを押す

“E”を点滅表示します。



2 バックライト点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで ドレミファン ボタンを押す

アンテナマークが送信状態を表示します。
● 8ページ「電波を送信(受信)したときの表示」



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、アンテナマークが受信状態を表示します。



※電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。



設定されたグロー時間後にエンジンの始動を行います。

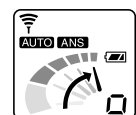
エンジンが始動すると



20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークがアイドリング状態を表示し、エンジンの始動をお知らせします。



● 8ページ「エンジン始動(アイドリング)・停止時の表示の表示」

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

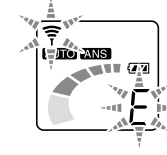
アイドリング中は『ピッピッピッ』とジャンクションユニットから連続して鳴り、本機動作により、アイドリングしていることをお知らせします。

エンジンを停止させる

リモコンの操作

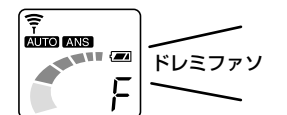
1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで E ボタンを押す

“E”を点滅表示します。



2 バックライト点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで ドレミファン ボタンを押す

アンテナマークが送信状態を表示します。
● 8ページ「電波を送信(受信)したときの表示」



アンテナユニットが信号を認識すると、エンジンを停止しリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ピーピーピッ』が鳴り、メーターマークがエンジン停止状態を表示し、エンジンの停止をお知らせします。

● 8ページ「エンジン始動(アイドリング)・停止時の表示」



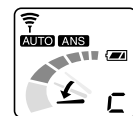
エンジンの状態を確認する

エンジンの始動／停止状態の確認ができます。

ご注意 キーでエンジンを始動した場合は確認できません。



● エンジンが停止中は

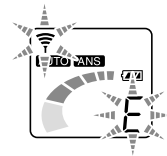


エンジン停止音『ピーピーピッ』が鳴り、メーターマークがエンジン停止状態を表示します。

リモコンの操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **E** ボタンを押す

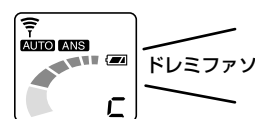
“E”を点滅表示します。



2 バックライト点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで **E** ボタンを押す

アンテナマークが送信状態を表示します。

● 8ページ「電波を送信(受信)したときの表示」



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

アイドリング中は受信音『ドレミファソファミレド』が鳴り、メーターマークがアイドリング状態を表示し、エンジン始動をお知らせします。



ドレミファソファミレド

別売のハザード制御：A-18SFを接続していると、ハザードランプが3回点滅します。

マニュアル操作でドアをロック/アンロックする

本機リモコン操作で、ドアロック/アンロックすることができます。

メモ

マニュアル操作を行うと、AUTO アイコンが点滅し、オートキーレス動作を停止します。

オートキーレス自動復帰機能またはオートキーレス機能復帰操作で、オートキーレス動作を再開できます。

● 26ページ「オートキーレス動作の設定」
● 13ページ「オートキーレス機能復帰操作」

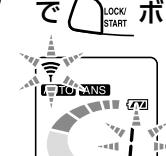


STOP/
UNLOCK
ボタン

START/LOCK
ボタン

ドアのロック(施錠)操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **LOCK/START** ボタンを押す



“L”を点滅表示します。

2 バックライト点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度 **LOCK/START** ボタンを押す



アンテナマークが送信状態を表示します。

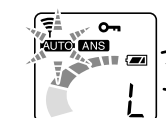
● 8ページ「電波を送信(受信)したときの表示」



アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをロックしてリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、 に表示が変わり、ドアのロック(施錠)をお知らせします。



ソファミレド

ドアがロック(施錠)されます。

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、施錠と同時にハザードランプを1回点滅させることができます。

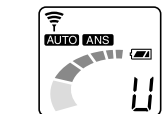
ドアのアンロック(解錠)操作

1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで **UNLOCK/STOP** ボタンを押す



“U”を点滅表示します。

2 バックライト点灯中(約3秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度 **UNLOCK/STOP** ボタンを押す



アンテナマークが送信状態を表示します。

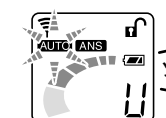
● 8ページ「電波を送信(受信)したときの表示」



アンテナユニットが信号を認識すると、ドアをアンロックしてリモコンに信号を送り返します。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』が鳴り、 に表示が変わり、ドアのアンロック(解錠)をお知らせします。



ソファミレド

ドアがアンロック(解錠)されます。

ご注意

オートキーレス自動復帰機能をONに設定しているときは、アンロック操作後、30秒以内にドアを開ける(または閉める)操作を行わないと、オートキーレス動作を再開し、ドアがロックされることがあります。

● 26ページ「オートキーレス自動復帰機能の設定」

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、解錠と同時にハザードランプを2回点滅させることができます。

⚠ 注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

車を発車させる

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

- ➡ 17ページ「エンジンを停止させる」
- ※ 別売ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンを停止できます。
- ➡ 26ページ「ドア検出」

2 キーでエンジンを始動させる



リモコン使用時の注意とヒント

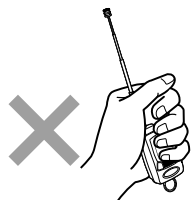
エンジンの始動/停止やマニュアル操作によるドアロック/アンロック操作を行う際は、以下の点に注意して行ってください。

⚠ 警告

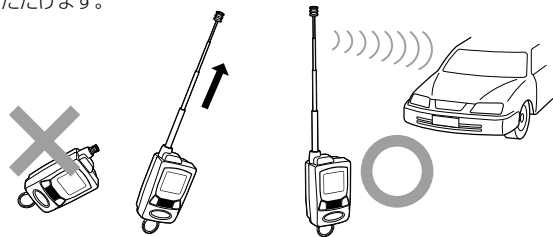
車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

■安定した通信を行うために、次のことを守ってください

- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。



- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。
- ※オートキーレス機能は、リモコンのアンテナを収納した状態でご使用いただけます。



- アンサーバック信号を受信するまではアンテナを収納しないでください。アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。

- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。

■通信が正常に行われずにエラー音『ピー』が鳴ってしまう場合は以下のことをお試しください。改善される場合があります。

- 車輦(アンテナユニット)とリモコンの間に障害物が無くなるような方向に車を駐車してください。障害物により電波が遮断されることがあります。

- リモコンの右側面を車輦(アンテナユニット)に向けて操作してください。通信距離が伸びることがあります。



- アンテナユニットをフロントガラス上部またはルームミラー裏に取り付けしてください。アンテナユニットを高い位置に取り付けると通信距離が伸びることがあります。

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行う機能です。なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドルリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

ポイント

キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。また、ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)ただし、P・ポジション自動検出ができない車輦でP・ポジションインジケーターステップに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。設定を変更する場合は、右記「ターボタイマー機能の設定手順」に従って操作してください。

ご注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

⚠ 注意

車を離れるときは必ず鍵をかけ、キーを携帯してください。車によってはアイドルリング中またはキーが差し込まれている状態でリモコンによるドアのアンロック(解錠)ができないことがあります。

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0分間~10分間	約30秒間
10分間~30分間	約1分間
30分間~1時間	約1分30秒
1時間~2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

ポイント

走行時間はエンジンキーONからの時間をカウントしています。

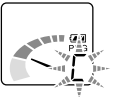
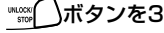
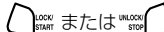
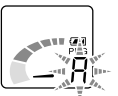
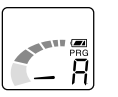
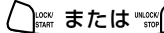
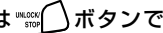
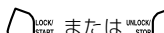
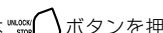
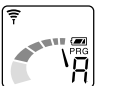
メモ

- アフターアイドルリング中にリモコンでのエンジン停止の操作、またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。
- ターボタイマーのカウントダウンはシフトレバーがパーキング(P)に入ってから開始されます。そのため実際のアフターアイドルリング時間と上記の「オート方式のアフターアイドルリング時間」は異なります。
- キーをOFFにしてからパーキング(P)にシフトチェンジした場合、ターボタイマー機能は働きません。

ご注意

カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

■ターボタイマー機能の設定手順

-  ボタンを同時に操作確認音『ピッ』が鳴るまで押し続ける
"L" を表示します。
-  ボタンを3回押してターボタイマー設定モード(7セグ"R" を表示)にする
または  ボタンを押すたびに項目音が変わります。
-  ボタンを押す。
『ドミノ』が鳴り、ジャンクションユニットと通信を開始し、『ソファミレド』が鳴り、設定値を読み込みます。設定値が正常に読み込まれると設定値を示す設定音が鳴り、メーターマークが設定値を示す表示を行います。(工場出荷時はOFF設定 設定音『ビビッ』)
<OFF表示>メーターマークが水平を示します。
-  または  ボタンでターボタイマー機能のON/OFFを選択する
 または  ボタンを押すたびにON『ピッ』/OFF『ビビッ』を切り替えることができます。
<ON表示>メーターマークが垂直を示します。
- ご希望の設定を選択し、 と  ボタンを同時に操作確認音『ドレミ』が鳴るまで押し続ける
受信音『ミレド』が鳴り、ジャンクションユニットにターボタイマー機能のON/OFFを登録します。

ご注意

- 手順5の操作を行わないと、操作した内容は無効となります。
- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、『ブー』音が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますのでアンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

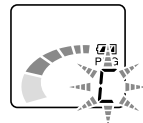
本機は車輦や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

【ご注意】「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輦の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を7段階から選択できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は1.0秒に設定されています。



ポイント

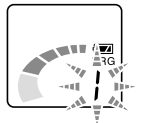
オルタネータ線(白線)を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

設定値	設定音	表示
0.7秒	ピッ	
1.0秒	ピピッ	
1.3秒	ピピピッ	
1.5秒	ピピピピッ	
2.0秒	ピー	
3.0秒	ピーピッ	
5.0秒	ピーピピッ	

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を5段階から選択できます。

※工場出荷時は10分に設定されています。

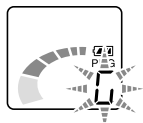


設定値	設定音	表示
2分	ピッ	
10分	ピピッ	
15分	ピピピッ	
20分	ピピピピッ	
30分	ピー	

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※工場出荷時は5秒に設定されています。



【ご注意】

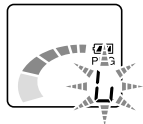
グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

設定値	設定音	表示
2.0秒	ピッ	
3.0秒	ピピッ	
5.0秒	ピピピッ	
7.0秒	ピピピピッ	
10.0秒	ピー	

ステータスLEDの点滅設定

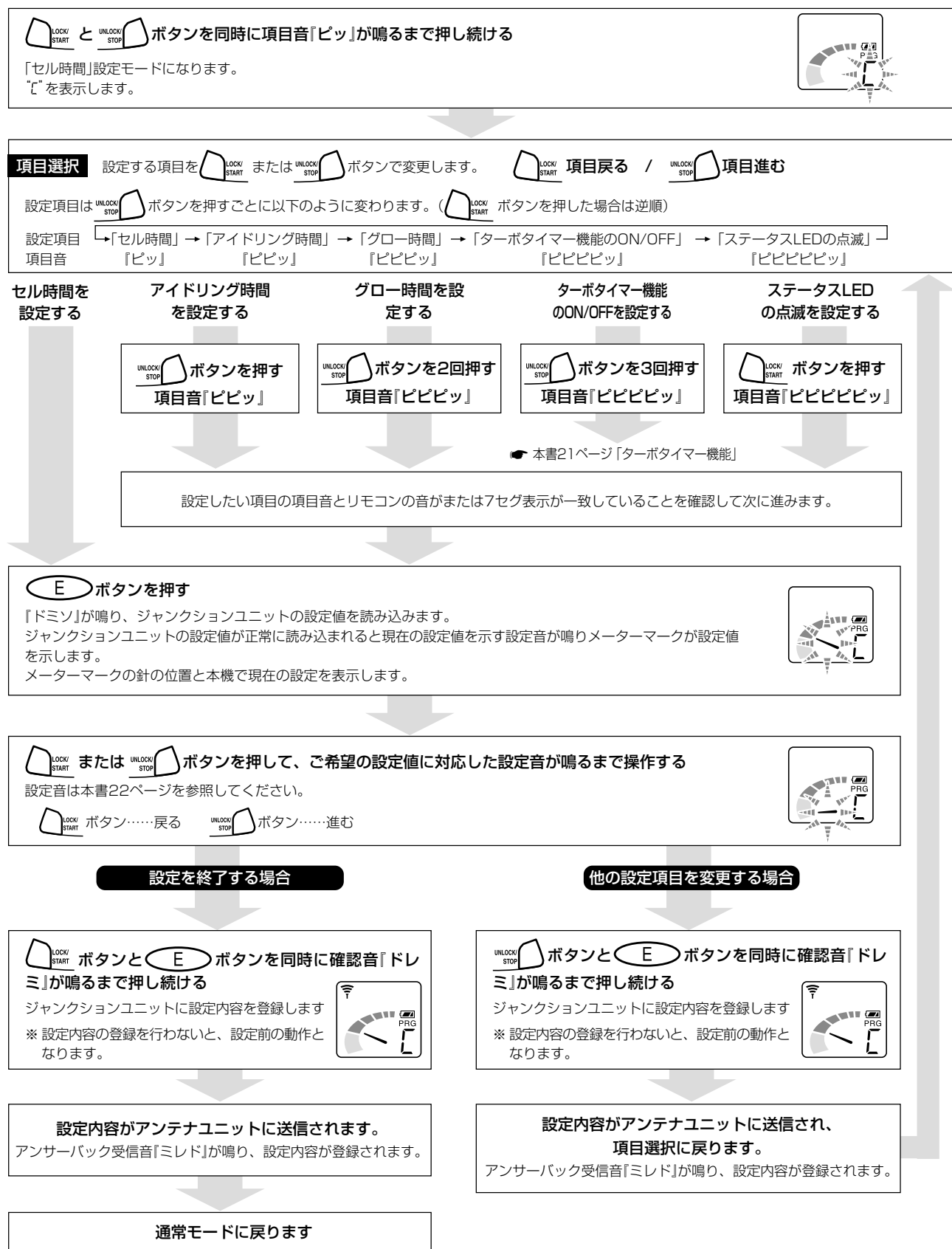
本機スタンバイ中にアンテナユニットのステータスLED を点滅させる／点滅させないの選択ができます。ステータスLEDの点滅により、カーセキュリティが動作しているようなイメージを与え、防犯効果が期待できます。

※工場出荷時は点滅させないに設定されています。



ポイント

スタンバイ中とは、本機でエンジンの始動ができる状態を指します。



【ご注意】

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、『ブー』音が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますので、アンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

エンジンスターターの設定

本機は一部の特殊な車輛でご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

【ご注意】「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セルモータ停止タイミング検出方法選択（設定には専門知識が必要です）

セルモータ停止タイミングの検出方法を選択できます。
セル時間を設定してもセルモータの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモータの引きずりがない場合は、設定変更ししないでください。
※工場出荷時は「オルタネータ検出」(ブブッ)に設定されています。



ポイント

工場出荷時の設定(「オルタネータ検出」を選択)をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間(● 22ページ「セル時間の設定」)で、セルモータを停止します。
「電圧検出」選択時はオルタネータ線の接続は不要です。

設定音	設定値	表示
「ブッ」	電圧検出	
「ブブッ」	オルタネータ検出	
「ブブブッ」	検出しない	

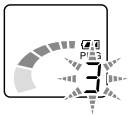
【ご注意】

一部の車輛ではセルモータ停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモータの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択（設定には専門知識が必要です）

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。
エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。設定を変更しても改善が見られない場合は「判定する」に戻し、オルタネータ線を接続してください。

※工場出荷時は「判定する」(ブッ)に設定されています。

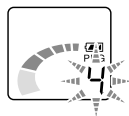


設定音	設定値	表示
「ブッ」	「判定する」 各検出機能によりエンジンの停止を検出すると、アクセサリ電源などを停止状態(電源をOFF)にします。	
「ブブッ」	「特殊判定」 エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。	

IG設定（設定には専門知識が必要です）

特殊な場合(一部のホンダ車など)を除き、設定の必要はありません。
設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。

※工場出荷時は「IG1+IG2」(ブブブッ)に設定されています。

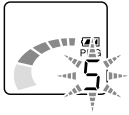


設定音	設定値	表示
「ブッ」	IG1	
「ブブッ」	IG2	
「ブブブッ」	IG1+IG2	

エンジンスターター特殊制御の設定（設定には専門知識が必要です）

一部の車輛において、イグニッション部の接触不良などによりエンジンスターターによるアイドリング中にセルモータが始動することがあります。このような状態を回避するため、アイドリング中のセルモータ始動を制限します。

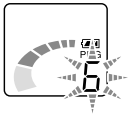
※キーフリー搭載車の一部は、エンジンが始動してもすぐに停止してしまう場合があります。このような場合にはOFFに設定してください。それ以外はONを選択してください。



オールリセット

エンジンスターターの設定(● 22、24ページ)をすべて工場出荷時の設定に戻します。

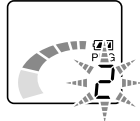
※オートキーレス動作の設定(本書26、27ページ)は工場出荷時の設定に戻りません。



設定音	設定値	表示
「ブッ」	工場出荷時に設定に戻す	
「ブブッ」	工場出荷時の設定に戻さない	

と 、 の3つのボタンを同時に項目音『ブッ』が鳴るまで押し続ける

「セルモータ停止タイミング検出方法」の選択モードになります。
“2”を表示します。



項目選択 設定項目は ボタンまたは ボタンで変更できます。 項目戻る / 項目進む

設定項目は ボタンを押すごとに以下のように変わります。(ボタンを押した場合は逆順)

設定項目
項目音
「ブッ」
「ブブッ」
「ブブブッ」
「ブブブブッ」
「ブブブブブッ」

セルモータ停止
タイミング検出
方法を変更する

始動判定方法
を変更する

IG設定
を変更する

エンジンスターター
特殊制御を変更する

工場出荷時の
設定に戻す

ボタンを押す
項目音『ブブッ』

ボタンを2回押す
項目音『ブブブッ』

ボタンを3回押す
項目音『ブブブブッ』

ボタンを押す
項目音『ブブブブブッ』

設定したい項目の項目音とリモコンの音がまたは7セグ表示が一致していることを確認して次に進みます。

ボタンを押す

『ドミソ』が鳴り、ジャンクションユニットの設定値を読み込みます。
ジャンクションユニットの設定値が正常に読み込まれると現在の設定値を示す設定音が鳴りメーターマークが設定値を示します。
メーターマークの針の本数で現在の設定を表示します。



または ボタンを押して、ご希望の設定値に対応した設定音が鳴るまで操作する

設定音は本書24ページを参照してください。

ボタン……戻る ボタン……進む



全ての設定値を工場出
荷時に戻す場合は
 または

ボタンで

「工場出荷時の設定に戻
す」(ブッ)を選択する

ジャンクションユニットの
設定内容を工場出荷時の設
定値に戻します。

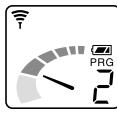
設定を終了する場合

他の設定項目を変更する場合

ボタンと ボタンを同時に確認音『ドレミ』が鳴るまで押し続ける

ジャンクションユニットに設定内容を登録します

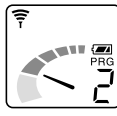
※ 設定内容の登録を行わないと、設定前の動作となります。



ボタンと ボタンを同時に確認音『ドレミ』が鳴るまで押し続ける

ジャンクションユニットに設定内容を登録します

※ 設定内容の登録を行わないと、設定前の動作となります。



設定内容がアンテナユニットに送信されます。

アンサーバック受信音『ミレド』が鳴り、設定内容が登録されます。

設定内容がアンテナユニットに送信され、

項目選択に戻ります。

アンサーバック受信音『ミレド』が鳴り、設定内容が登録されます。

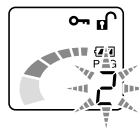
通常モードに戻ります

【ご注意】

- 設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、『ブー』音が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。
- 設定確定後、アンテナユニットからアンサーバックがありますので、アンサーバックを受信するまでは、アンテナを収納しないでください。

本機オートキーレス機能の基本動作を設定できます。

ドア検出（別売ドア検出線：A-60接続の場合のみ）



別売ドア検出線：A-60を接続すると、ドアの開放を検知して、ドアが開いた場合はオートキーレス動作を停止し、荷物の積み下ろしの際などに、ドアがロックされてしまうことを防ぎます。別売ドア検出線：A-60を接続されていない場合は、「無効」を選択してください。

※工場出荷時は、「無効」(ビッ)に設定されています。

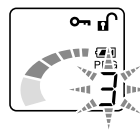
ご注意

- 別売ドア検出線の接続は、運転席ドアのみとなる場合があります。このような車輦は運転席以外のドアを開けた状態では、オートキーレス動作を停止できません。
- 「無効」を選択した場合は、ドアの開放を検知しません。ドアアンロック状態を保持したいときは、エンジン停止状態でエンジンキーをACCにしておくか、マニュアル操作でドアをアンロックしてください。また、別売ドア検出線を接続している場合であっても、万が一に備えてエンジンキーは必ずお持ちください。

● 19ページ「マニュアル操作でロック/アンロックする」

設定値	設定音	表示
無効	ビッ	
有効	ビビッ	

アイドリング中のドア開検出動作（別売ドア検出線：A-60接続の場合のみ）



本機アイドリング中にドア開を検知した場合に、アイドリングを停止することができます。

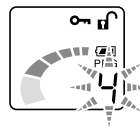
※本機能を設定する際は、● 26ページ「ドア検出」を有効に設定してください。

※アフターアイドリング中は機能しません。

※工場出荷時は、「アイドリング停止」(ビビッ)に設定されています。

設定値	設定音	表示
アイドリング継続	ビッ	
アイドリング停止	ビビッ	

ダブルロック反転動作



一部の車輦において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないことがあります。本機はこのような車輦でも、確実にドアをロックするためにダブルロック時およびモーションロック時は一度アンロック動作後にドアをロック(反転動作)する安全機能を備えています。

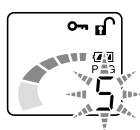
※工場出荷時は、「反転動作しない」(ビッ)に設定されています。

ご注意

ロック動作の確認(● 29ページ)でご確認のうえ、設定を行ってください。

設定値	設定音	表示
反転動作しない	ビッ	
反転動作する	ビビッ	

マイホームモードの設定



ご自宅の敷地内に駐車される場合、本機リモコンを窓際などに置いた際に、アンロック状態になる場合があります。このような場合はマイホームモードを選択してください。

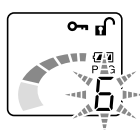
● 13ページ「マイホームモード」

※「有効」を選択した場合は、リモコンが振動を検知できないと、ドアを強制的にロックします。

※工場出荷時は、「無効」(ビッ)に設定されています。

設定値	設定音	表示
無効	ビッ	
有効	ビビッ	

オートキーレス自動復帰機能の設定



アンロック状態の継続を回避する機能です。

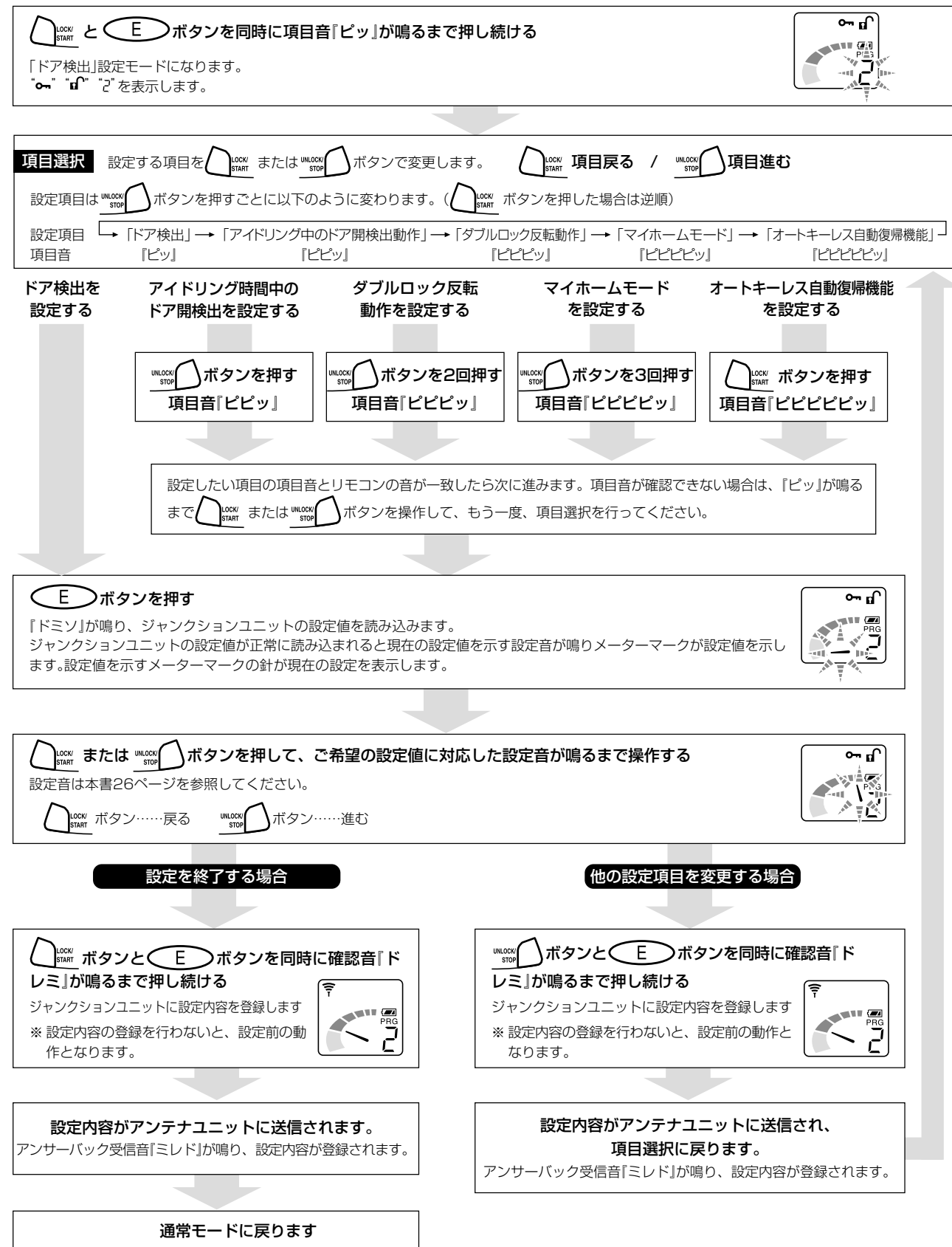
オートキーレス復帰機能は、次の条件でオートキーレス動作を再開し、アンロック状態の継続を回避します。

- アンロック操作の後の30秒以内に、ドアを開けるまたは閉めるの動作がないとき。
- エンジンキーをACCからOFFにする。

※「OFF」を選択した場合は、マニュアル操作後、操作状態を保持します。オートキーレス動作によるドアロック/アンロックを行いません。

※工場出荷時は、「ON」(ビビッ)に設定されています。

設定値	設定音	表示
OFF	ビッ	
ON	ビビッ	

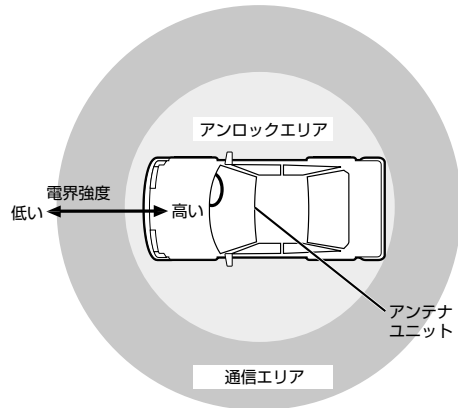


アンロックエリアの設定

本機オートキーレス機能をご使用になるには、車輛の大きさや駐車環境に合わせてアンロックエリアの設定が必要です。アンロックエリア内にリモコンが存在していると、ドアをアンロックし、アンロックエリア内にリモコンが存在しないとロックを行います。アンロックエリアはアンテナユニットを中心にエリアを形成します。アンロックエリアを1m以内で設定すると、車のボディに電波が遮断され、不安定な動作となることがあります。できるだけドアのロックが確認できる距離(1m～3m程度)で設定してください。

メモ

通信エリアは周囲に何も無いようなところで、約30m～50mとなります。

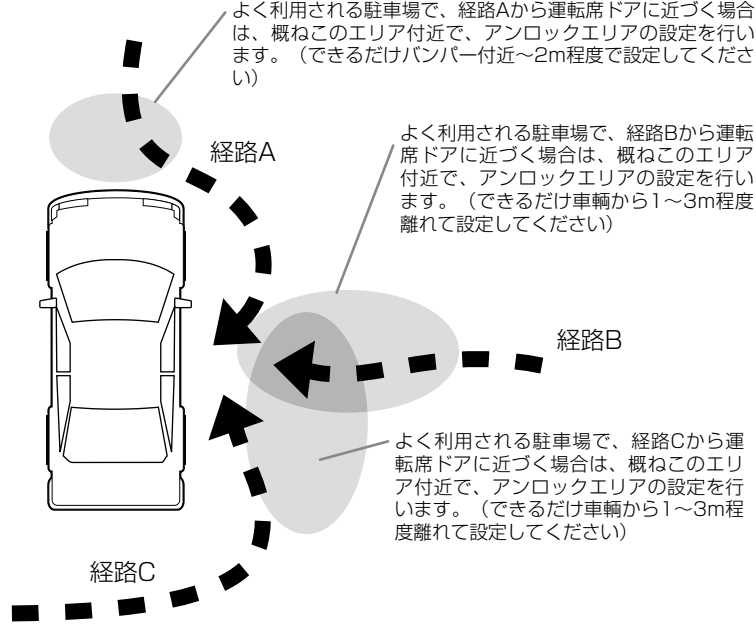


●アンロックエリア設定手順

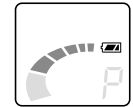
メモ

車に乗り込む際の経路上で設定すると、より快適にお使いいただけます。

※よく利用されるご自宅の駐車場などで、車の前方から運転席ドアに向かわれる場合は、フロントバンパー付近、車の後方から運転席に近づく場合は、後部座席ドア付近でアンロックエリアの設定を行います。



- 1 エンジンキーをOFFにする
- 2  ボタンと **E** ボタンを同時に確認音「ピッ」が鳴るまで押す(約5秒)

アンロックエリア設定モードになります。P を表示します。
- 3 アンロックしたい位置で車輛に向いて立ち、 ボタンと **E** ボタンを同時に確認音「ドレミ」が鳴るまで押す(約5秒)
受信音「ミレド」が鳴り、P の表示が消えます。
操作した位置がアンロックエリアに設定されます。

※ 設定されたアンロックエリアは、リモコンを手に持った状態で設定されているため、実際の動作位置と前後することがあります。
- 4 車に乗り込み、一度エンジンキーをACC→OFFにして、車輛のドアを閉め車から離れる
設定したアンロックエリア付近で、ドアがロックすることを確認してください。
- 5 通信エリアの外(アンテナアイコンが消灯する場所)まで移動し、30秒以上経過してからその後車に近づく
設定したアンロックエリア付近で、ドアがアンロックすることを確認してください。

ご希望のエリアが設定できるまで、以上の手順を繰り返します。

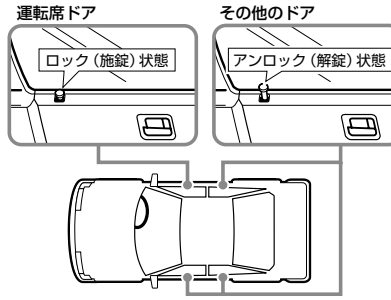
ご注意

設定モード中は20秒以上ボタン操作がないと、『ブー』音が鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。

ロック動作の確認

●ロック動作の確認手順

- 1 運転席ドアをロックし、その他のドアをアンロック状態にしてすべてのドアを閉じる
- 2 本機リモコンの  ボタンを押し、ドアロックを行う
- 3 すべてのドアがロックされていることを確認
すべてのドアがロックされていない場合は、安全上ダブルロック時に一度アンロックしてからロックを行う「反転動作する」に設定されることをおすすめます。



☛ 26ページ「ダブルロック反転動作」

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション検出が必要です。
ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション検出を行ってください。(P・ポジション検出をしないと、本機は動作しません)

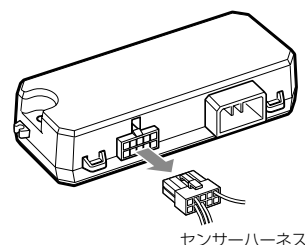
パーキング(P)・ポジション検出

接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション検出を行わないと、動作しません。
一部の車種では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。

ご注意

パーキング(P)・ポジション検出の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。(ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません)



センサーハーネス

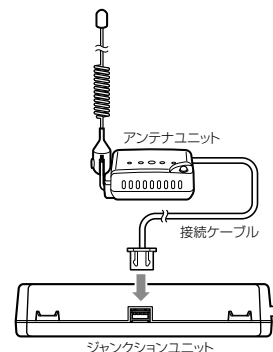
ご注意

エンジンスターターの設定(22~25ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

1 アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する

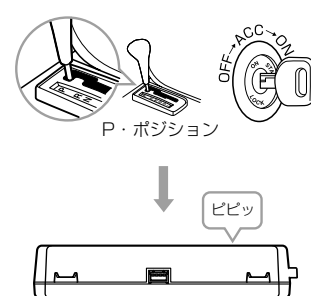
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了するとジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※ 確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。



2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える

ジャンクションユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。



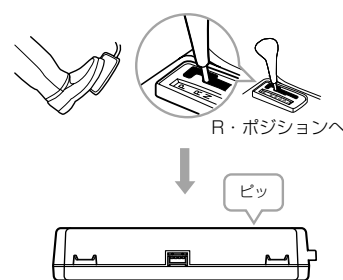
3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える

ジャンクションユニットから約3秒後に『ピッ』と鳴ります。

P・ポジション検出が行えることを確認できました。

※ 何も音がしない場合は、P・ポジション検出を行うことができません。

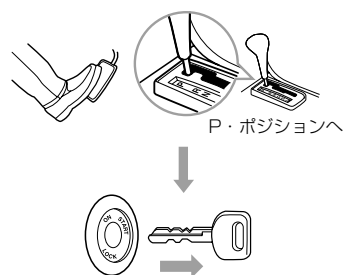
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて31ページをお読みください。



4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻す

約2秒後にジャンクションユニットから『ピー』または『ピロロロロロ』が鳴ることを確認し、キーを抜きます。

※ 何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。

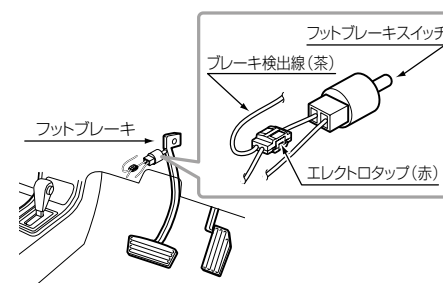
● 22~25ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション検出が行えない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

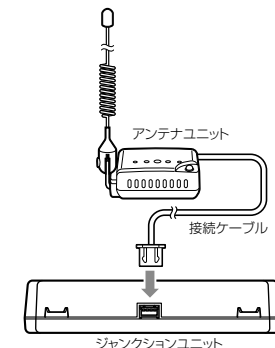
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



1 センサーハーネスを接続し、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する

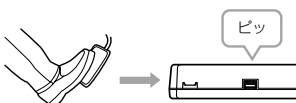


2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える



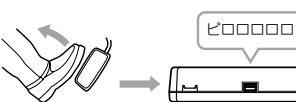
3 ブレーキペダルを踏む

ジャンクションユニットから『ピッ』と鳴ります。



4 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから『ピロロロロ』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターターの設定を行ってください。

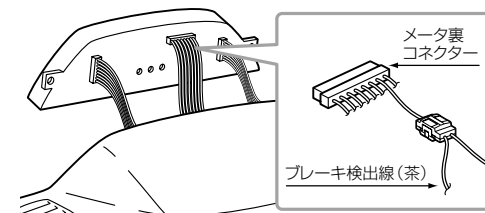
● 22~25ページ「エンジンスターターの設定」

P・ポジション検出が行えない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケータランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※ 接続先は、サーキットテスターで確認してください。



ジャンクションユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、「P・ポジション検出」(30ページ)に戻ってP・ポジションの検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報ダイヤルでご確認ください。

リモコンの登録

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

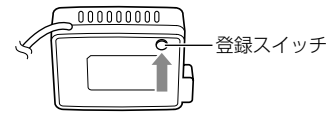
※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文から数日かかる場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 手順の途中でステータスLEDが記載通りに点滅(点灯)しない場合は、手順6に進み、再度手順1から操作を行ってください。

リモコンの登録手順

1 シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキをかけた状態でエンジンキーをOFFにする

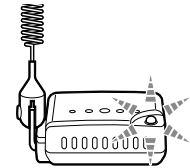
2 アンテナユニットの登録スイッチを押す



リモコン登録モードになります。ステータスLEDが点灯します。

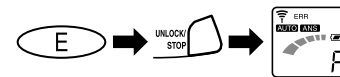
3 ステータスLED点灯中(約10秒間)にエンジンキーをACCにする

ステータスLEDが2回点滅します。



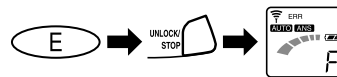
4 登録するリモコンのEボタンを押し、点滅中(約2秒間)に『ドレミファソ』が鳴るまでUNLOCK/STOPボタンを押す

ステータスLEDが2回点滅します。リモコンから確認音『ピー』が鳴ります。



5 もう一度、登録するリモコンのEボタンを押し、点滅中(約2秒間)に『ドレミファソ』が鳴るまでUNLOCK/STOPボタンを押す

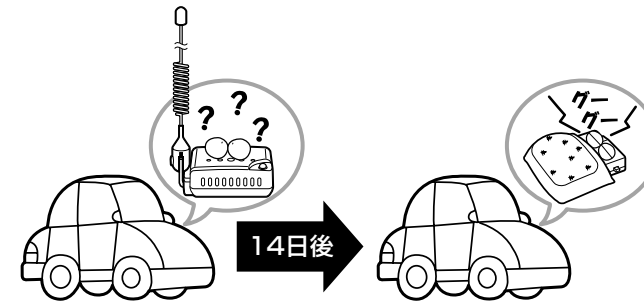
ステータスLEDが点灯後、5回点滅し消灯します。リモコンから確認音『ピー』が鳴ります。



6 エンジンキーをOFFにする

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いてください。

バッテリーについて

車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
➡ 30ページ「パーキング(P)ポジション自動検出機能の確認」

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外ときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※ 一部の車輦では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※ 一部の車輦において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ ドア検出

(別売のA-60を使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

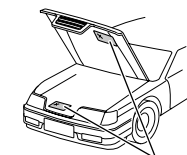
アイドリング中のドア開検出動作を「アイドリング中止」に設定すると、エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)

➡ 26ページ「アイドリング中のドア開検出動作」



⚠ 警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておいてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(大)



ご注意ステッカー(小)

Q

リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(アンテナマークが点滅する場合)

A

リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

エラー音『ピー』が鳴る

- キーでエンジンを始動していませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- スリープ機能が働いていませんか？ (➡ 33ページ)
- 車と離れすぎていませんか？
- パーキング(P)・ポジション検出ができていますか？
➡ 30ページ「パーキング(P)ポジション検出」
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか？

受信音『ソファミレド』が鳴る

- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか？
- 車のバッテリーが弱っていませんか？
- エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？ ➡ 22～25ページ「エンジンスターターの設定」

Q

気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A

気温が低いと、エンジン自体のかがりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。 ➡ 22ページ「セル時間の設定」

Q

エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A

エンジンの始動検出ができていないためです。始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。また、「特殊判定」を選択した際に、確実にエンジンが始動することをご確認ください。「特殊判定」を選択して、エンジンが始動しないと車のバッテリー上がりの原因となります。 ➡ 24ページ「始動判定方法選択」

Q

リモコンを操作していたら、エンジンがかからなくなりました。

A

エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。
➡ 22～25ページ「エンジンスターターの設定」

Q

リモコンのマークが点灯(点滅)しない。
リモコンのバックライトが点滅を繰り返す。

A

- 電池が消耗していませんか？
- 電池が正しく入っていますか？電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- ➡ 20ページ「リモコン使用時の注意とヒント」をご覧ください。
- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？
- アンテナユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- アンテナユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありますか？
- リモコンにチェーンやカギ、金属アクセサリーなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。
- リモコンの右側面を車輦に向けると電波が届きやすくなる場合があります。

Q

送信音『ドレミファソ』は鳴るが、受信音『ソファミレド』が鳴らずにエラー音『ピー』が鳴る

A

周囲の電波状況によっては、アンテナユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
➡ 20ページ「リモコン使用時の注意とヒント」

Q

オート、マニュアルともにキーレス動作しない

A

車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック(解錠)できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

Q

オートキーレス機能が働かない

A

マニュアル操作を行なっていませんか？
マニュアル操作によるドアロック/アンロック操作を行なった後は、オートキーレス機能を停止します。
オートキーレス復帰操作を行ってください。
➡ 13ページ「オートキーレス機能復帰操作」

Q

ターボタイマーが働かない。

A

- ターボタイマー機能がONに設定されていますか？
➡ 21ページ「ターボタイマー機能のON/OFF設定」
- ターボタイマー機能はP・ポジション検出ができた場合、またはP・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合でターボタイマー機能をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドル時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。
➡ 21ページ「ターボタイマー機能とは」

Q

アフターアイドル時間が短い。

A

ターボタイマーのカウントダウンは、シフトレバーがパーキング(P)に入った時点から開始されます。
➡ 21ページ「ターボタイマー機能とは」

Q

付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A

ブレーキ検出線は、P・ポジション検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります)
また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。
スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。エンジンキーをACCにすると解除されます。

始動エラー音について

本機は取り付け作業時およびエンジンスター機能やターボタイマー機能が作動しない場合、本機リモコンの確認操作(🔊18ページ「エンジンの状態を確認する」)でジャンクションユニットから始動エラー音を鳴らして、不具合を起こしている場所がわかります。

本機の動作に不具合があったときは、この「始動エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

始動エラー音	不具合の検出
ピピピッ ピピピッ ピピピッ	Pポジションの検出ができていません。 🔊30ページ「パーキング(P)ポジション検出」
ピー ピー ピッピッピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常
ピー ピッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ピー ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピッピッピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ピピピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ピピピッ ピッ	キー飛び込み

仕 様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	426.05MHz
送信出力	1mW以下
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	30(W)×50(H)×18(D)mm(突起部含まず)
重量	36g(電池含む)

■アンテナユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	426.05MHz
送信出力	1mW以下
電源電圧	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：約4.5mA 待機時：約17.5mA(平均)
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	アンテナユニット ：36(W)×15(H)×27(D)mm (突起部およびアンテナ部含まず) ジャンクションユニット ：138(W)×28(H)×63(D)mm(突起部含まず)
重量	アンテナユニット：60g(ケーブル含む) ジャンクションユニット：125g

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

まず本書の34、35ページ「こんなときは」をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンの登録について

リモコンの紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
※リモコンの登録にあたっては、本機にIDコードを登録する必要があります。(● 本書32ページ「リモコンの登録」)

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は本書38ページをご覧ください。

ユピテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10：00～18：00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：30 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。